学校番号	T0308

平成 31 年度　理科

教科	理科	科目	生物基礎	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　改訂　新生物基礎　（第一学習社）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

一見多様に見える生物の世界も「細胞」「遺伝子」などの観点からみれば共通性その共通性を見て取ることができます。また、同種の生物もさまざまな環境に適応してそのからだを変化させています。生物は単独で生きているのではなく他の生物や環境との関わりの中で存在しています。自然の中に生きる人として、前述のような観点で世界を見ることにより「いかに生きるか」ということを考えてみましょう。

2　学習の到達目標

多様な生物の世界について「細胞」「遺伝子」などの観点からその共通性を理解し、人が健康に生きるために、個々の細胞の集合体として「恒常性」が保たれている仕組みを学ぶ。また、生物は単独で存在しているのではなく、地球上の様々な環境や、他の生物との関わりで「生態系」の中で存在しているということに気づき、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度と、持続可能な社会づくりに貢献できる力を身につける。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象に興味をもち、意欲的に探求しようとするとともに、生物の共通性と多様性を常に意識するなど、科学的なものの見方を身につけている。	生物や生命現象のなかに問題を見出し、探求する過程を通して、事象を科学的に観察し、導きだした答えを適切に表現している。	生物や生物の現象について観察や実験を行い、基本的な操作を習得するとともに、それらを応用して他の課題に対して的確なアプローチをおこなうことができる。	生物や生命の現象に対して基本的な概念や原理・原則を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4　学習の活動

<table>
<tr><th rowspan="2">学期</th><th rowspan="2">単元名</th><th rowspan="2">学習内容</th><th colspan="4">主な評価の観点</th><th rowspan="2">単元(題材)の評価規準</th><th rowspan="2">評価方法</th></tr>
<tr><th>a</th><th>b</th><th>c</th><th>d</th></tr>
<tr><td rowspan="3">1学期</td><td rowspan="3">生物の特徴</td><td>生物に見られる多様性と共通性</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td><td rowspan="3">a:生物の多様性と共通性、細胞の仕組みとエネルギー、遺伝のしくみＤＮＡについて意欲的に理解しようとする。
b:遺伝の仕組みについて理解し図などを用いてで表現できる。
c:細胞を観察し簡単なスケッチなどで表現することができる。
d:生物に見られる多様性を共通性や遺伝現象の仕組みを理解しその知識を身につけている。</td><td rowspan="3">学習状況の観察
ノートやワークシートの記述
探究活動の記録、発表
定期考査の結果</td></tr>
<tr><td>細胞とエネルギー</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>遺伝現象とDNA</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">2学期</td><td rowspan="3">生物の体内環境</td><td>体液とそのはたらき</td><td>○</td><td>○</td><td></td><td></td><td rowspan="3">a:生物の体内環境について感心をもち、意欲的に探求しようとする。
b:内部環境を保つしくみについて学び理解し発表するなどして表現できる。
c:体内環境維持のしくみについて観察実験をおこないその結果を記録整理している。
d:生態防御の仕組みを理解し実際の生活上への応用についての知識を持っている。</td><td rowspan="3">学習状況の観察
ノートやワークシートの記述
探究活動の記録、発表
定期考査の結果</td></tr>
<tr><td>生態防御</td><td>○</td><td></td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td>体内環境維持のしくみ</td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

3学期	生物の多様性と分布	植物と環境	○		○	○	a:植物とそれをとりまく環境について理解しようとする態度が見られる。バイオームの概念について探求する態度が見られる。 b:バイオームの考え方を理解し地図、グラフなどを使って表現することができる。 c:植物の基本的性質である光合成の仕組みを理解するための探究活動をおこないそれを整理表現できる。 d:生物と環境のかかわりについて基本的な概念を理解している。	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の記録、発表 定期考査の結果
		気候とバイオーム	○	○				

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。